



申
8
号

「生命」を守ることを最優先とし、「新たなジョブローテーションの実施」の運用の中止を求める申し入れ

6月5日交渉報告②

緊急事態宣言が出ている最中に実施された今回の異動について、会社の認識を明らかにすること。

組合

適正な要員配置が必要であり、コロナの対策を講じながら、必要な異動なので実施した。

会社

ライフサイクル深度化制度からの復帰者の線見期間と、見習い運転士の養成期間が重なり、職場では感染拡大防止の観点から対応に非常に苦慮していることから、異動時期の判断基準を示すこと。

通常通りのスケジュールで異動している中で、たまたまコロナと重なってしまった。

コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、3密を避けるための工夫などを職場や訓練などで行なっている中で、異動を行うと、見習い期間が必須となる。そのことで3密を避けられない状況が発生しリスクが高まることから、中止をするべきだ。

会社としては、現場において色々な対策を行なっている上で実施した必要な異動である。出来ることは全てやっていく。密と言うのはあるかも知れないが、例えば乗務員室は一定程度距離感が保たれている。コロナ禍だからと言って、異動を中止するとはならない。

公募制の新幹線職場への異動が延期されているようであるが、理由を示すこと。

新白河の総合研修センターにおける感染拡大防止対策で、研修を開催出来ないため、延期となった。

今後の運転士や車掌の新規養成計画を明らかにすること。

新規養成において示せるものは現段階では決まっていない。

社員やお客さまの「生命」を守ることは会社として最大限やらなければいけない。対策を取ってはいるものの、これをやれば良いというものでもなく、特效薬がまだ無い中で、各人の努力の結果、鉄道という地域の足を止めることなく済んでいる。

新たなジョブローテーション施策の実施よりも、「生命」を守ることを最優先するべきだ。

公共交通機関として、コロナ禍において組合と認識が合わないかもしれないが、必要な異動を行う。理解して欲しい。

対立!

社員の「生命」よりも「施策の実施」を

重視する会社姿勢は到底認められない!

エッセンシャルワーカーとして「生命」を最優先する

企業体質にする為に、今後もたたかっています!